

開催日時：平成29年2月28日（火）13：00～16：30

開催場所：釧路市観光国際交流センター

第23回釧路湿原自然再生協議会 議事要旨

1. 開会

2. 第8期 釧路湿原自然再生協議会の運営について

1) 第8期 協議会構成員の公募結果報告

事務局から第8期協議会構成員の公募結果について報告し、協議会委員相互で公募結果を確認した。

2) 第8期 会長及び会長代理の選出

委員の互選により会長及び会長代理の選出が行われた。会長として中村太士委員が選任され、会長代理として高橋忠一委員が選任された。

3. 感謝状の贈呈について

中村会長より表彰状が贈呈され、受賞者から挨拶が行われた。

(受賞者)

- ・ 釧路川カヌーネットワーク
- ・ 特定非営利活動法人 トラストサルン釧路
- ・ 公益財団法人 日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ
- ・ 標茶西区農地・水保全隊
- ・ 鶴居村森林組合
- ・ 北海道標茶高等学校

4. 議 事

■議事1：第7期（後期）協議会の収支報告

事務局から第7期（後期）協議会の収支報告を行い、協議会委員相互で収支内容を確認した。

- ・ 質疑は無かった。

■議事2：第22回釧路湿原自然再生協議会以降の小委員会開催報告

事務局から第17回湿原再生小委員会、第19回及び20回旧川復元小委員会、第21回土砂流入小委員会、第16回森林再生小委員会、第14回水循環小委員会、第2回及び第3回地域づくり小委員会、第27回及び第28回再生普及小委員会の開催概要について報告した後、内容について協議が行われた。

【湿原再生小委員会について】

(委員)

- ・平成28年度の工事で出た残土を鶴居村のツルハシナイ川河畔に湿地を埋め立てるように盛っている。事業により搬出される土の置土場について検討会では検討されなかったと聞いている。河畔の湿地を壊しているとは見えない。

(事務局)

- ・今年の工事で置土しているところは鶴居村の村有地で、過去放牧地として利用され今は使われていないところで、川と河畔林に影響が無いようにという条件で許可を得ている。
- ・土は放牧地の木柵の内側で、川から30m離れたところに置かせて頂いている。
- ・置土場について小委員会では説明していなかったが、次回からは説明して委員からご意見を頂きながら進めていきたい。

(委員)

- ・現地を見るとツルハシナイ川から20m足らずのヨシ原のところまで土砂を広げ、支流の水路から4～5mのところまで置土している。自然再生する一方で湿地を壊している。湿地を壊すのは簡単だが復元するのは難しい。

(委員)

- ・小委員会では、過去に土をどこに持っていくか議論して農家に使ってもらおうという話が挙がり、鶴居村を通じて農家に掛け合ってもらったが、運搬料が掛かるので農家から声が挙がらなかった。
- ・現場は鶴居村のツルハシナイ川の村有地で、今は農地利用していないが将来利用する可能性があり、河畔林の縁にあるヨシ原に影響のないようにという条件で置く許可を得ていた。
- ・農用地として将来使うかもしれないということは、農用地として使えるように均して地盤高を高くするために利用するという方法もある。
- ・土は将来、鶴居村の農業用地で使ってもらうため置かせて頂き、今現地は凍っているので雪融けから均らし、川に土砂が流入しない方法を専門家たちに見て検討して頂き、モニタリングをしながら対処しなければならないと思う。

- ・ 誤解があるが、ヨシ原に置土したのではなく、過去に客土し改良して農地利用されていたところであり、部分的にヨシの生えているところに入り込んでいるということである。

(委員)

- ・ たまたま私達はツルハシナイ川の現場から2km上流にトラスト地を持っていて、農地から土砂が流出しないように農家と協定を結び保護地とする努力をしている。(それなのに)下流で土を盛るのは許されない。少なくとも現状復帰して欲しい。

(会長)

- ・ 事実関係がまだ確かではないところがある。
- ・ これからは置く場所まで検討して実施計画を考えるような方が良い。
- ・ 氷を含んだ水により表面浸食的に川に出ていくと良くないため、融雪前に排水溝を設けたりやシートで覆うなど、応急処置した方が良い。

(事務局)

- ・ 雪解けで土砂が流出しないように対応する。具体的には、土砂が川に流入しないような位置へ置土場を離し、法勾配を緩くして崩れづらくする。法面に表土を置き植生が早期に回復して土砂が流れないようにする。排水溝を設ける。

(会長)

- ・ 今までは置土地が鶴居村の土地なのでやり易かったと思うが、私有地も考え有効に使っていけるよう議論していかなければならない。鶴居村でどう使うのか意向を聞き、事実関係を確認して欲しい。

(委員)

- ・ 私も置土地を見て確認したが、土砂の搬入はこれからも続けるのか。

(事務局)

- ・ 当初の予定の2万m³のうち、1万8千m³*の搬出が終わっている。土地の7~8割を使用していて、まだ使用していないところがあるため、そこに搬入する予定であった。※3月10日開催の第18回湿原再生小委員会において1万4千m³へ訂正

(会長)

- ・ 状況が見えていないところがあるが、鶴居村との話し合いの中で置くことが決まり、土砂を鶴居村は何らかのことに使うのだと思う。土砂が流れ出ないように対処することを約束して頂いたので、そこで同意するしかないと思う。

【旧川復元小委員会について】

- ・ 質疑は無かった。

【土砂流入小委員会について】

- ・ 質疑は無かった。

【森林再生小委員会について】

- ・ 質疑は無かった。

【地域づくり小委員会について】

- ・ 質疑は無かった。

【再生普及小委員会について】

- ・ 質疑は無かった。

【全体を通して】

(委員)

- ・ 自然再生事業で行われている幌呂、達古武、ヌマオロ、久著呂等の平成28年度予算について教えてほしい。
- ・ 鉏路湿原が台風の水がめになったということもあり、再生事業は大切だと思っている。事業の進捗が遅いと感じるので、スピードアップしてほしい。
- ・ ヌマオロ地区旧川復元では川が深くなることを目標にしている、久著呂川では河床が深くなるのが問題となっていて、一貫していないのではないか。

(会長)

- ・ 久著呂川は上流域の蛇行河川を直線化したところから土砂が流出していることが問題となっており、ヌマオロ川は湿原流入部のところで直線化した河川環境が良くないため、環境が良くなるよう旧川を復元するものであり、どちらも環境を良くするため行うものである。

■議事3：ヌマオロ地区旧川復元実施計画（案）

神田委員長よりヌマオロ地区旧川復元実施計画（案）に関する旧川復元小委員会での検討経緯について報告が行われた後、事務局からヌマオロ地区旧川復元実施計画（案）について説明が行われ、内容について協議された。

(委員)

- ・ 実施計画（案）P44の図で復元河川の上に細い川筋が見えるがこれは何なのか。ここに影響は無いのか。別の支川では無く、昔の蛇行の跡なのか。

(委員)

- ・ 丘陵地に3つの水源がある支流で、丘陵地の谷から流れて復元予定区間より下流でヌマオロ川と合流している。

(委員)

- ・ 計画案の今の段階の話ではないが、茅沼の事業では施工業者がゴミを散らかしたり、喫煙しながら施工していた。施工主として施工業者の管理を徹底して欲しい。

(事務局)

- ・ ご指摘の点について、きちんと管理するようにする。

(委員)

- ・ 実施計画（案）に実際に施工する工事図面は載せなくても良いのか。旧川は掘削しないのか、茅沼と違い直線河道がクロスさせるところがあるが、どう工事するのか。掘削しないで水を通水する方法を教えてください。

(事務局)

- ・ 詳細な設計はこれからである。手続きを進め、実施計画（案）から実施計画となれば速やかに詳細設計に入り、また小委員会で報告させて頂く。
- ・ 掘削については旧川を接続させるために3か所掘削して繋げる。クロスさせるところは、今の案では茅沼のように袋型根固めのようなもので土留めをしようと思っているが、詳細についてはこれからになる。

(会長)

- ・ 茅沼では旧川自体を拡幅していたが、ここではどうなのか。

(事務局)

- ・ 掘削して拡幅する予定は無い。

(委員)

- ・ 実施計画（案）P28の断面図が実際測量した図なのか気になった。例えばP32の河道の復元イメージは縦横比が合っていないく大げさに書いている。

(事務局)

- ・ P32のイメージ図については修正する。

(会長)

- ・ カワシンジュガイはどこにいるのか。本川にいるのか、旧川にいるのか。

(事務局)

- ・ 本川下流の自然河道区間（リファレンスサイト）にいる。

(会長)

- ・ カワシンジュガイは泥に弱い。カワシンジュガイは最近色々な河川で再生産がうまくいっていないので、工事で発生する泥に気を付けたほうがよい。

(委員)

- ・ 現河道より復元河道は低くなるが、旧川を繋げると上流端は急勾配になり上流の川底が掘れてくるのではないか。上流に小学校があるが、ここへの影響は無いか。

(事務局)

- ・ 小学校はかなり上流なので影響は無い。接続部は急勾配となるが、上流がどんどん掘れていくことは無いことを検討で確認している。

(委員)

- ・ 工事後、市民でも経過をモニタリングしたい。ハンノキ林がヨシに戻るとされているところへ冬に行き、ハンノキにサルノコシカケが付いているかなど調査できる。ぜひ市民が参加できるモニタリング方法を検討してほしい。

(会長)

- ・ ワンダグリンドと一緒にいったらよい。

(会長)

- ・ ここへのアクセスはできるのか。

(事務局)

- ・ モニタリング調査のために茅沼のような木道を設置し、これを一般開放していく予定である。

(会長)

- ・ 実施計画（案）について、細かく詰めていくべきところはあるが、内容について概ね認めて頂けるか。

◆ 異議の声は無く、策定に向けた手続きを進めていく了承を得た。

■その他、全体を通しての質問等

(委員)

- ・ ツルハシナイ川付近の置土について対策して頂けるとのことだが、深刻な問題であると評価される方も多いので、緊急に現地を見て対策を検討する小委員会を開くべき。

(委員)

- ・ 緊急に湿原再生小委員会を開いてほしいとのことなので、準備したいと思う。

(委員)

- ・ 以前の協議会でエゾシカの被害報告があったが、今回はどこの小委員会からも報告が無かった。エゾシカの問題は大きな問題だと思う。どういう状況なのか。

(事務局)

- ・ 釧路湿原のエゾシカの対策については、自然再生とは別の枠組みの生態系回復事業という国立公園制度の中で進めているところである。今のところ変化を追えるまでのデータがそろっていない。雪の状況によって結果が大分変わり、今の段階で変化について言及することができない。

(会長)

- ・ エゾシカの問題については森林と湿原の小委員会になると思うが、何でもここで引き受けるのは大変だと思う。協議会で現状を知らせて頂くということで良いか。

(委員)

- ・ 昨年8月の台風で自然再生地に土砂が堆積した。これがまた湿原中央に流入することも考えられる。蛇行化すること自体は良いことだが、堆積した土砂の議論が話題に出ないことは問題であるので、協議会で取り上げてほしい。
- ・ 公有地で省庁ごとに再生事業を行っているが、流域はほとんど私有地で、私有地でも土砂の排出源対策を行わないと、いつまでたっても土砂は治まらない。

(会長)

- ・ 私有地で我々がアクションを起こすのは、お願いする立場にあるので難しい。これまでに本日配布している農家・林地保有者へ向けたパンフレットを作るなどしているが、どんな形でやれば良いという提案はあるか。

(委員)

- ・ 政策的な提案をしなければならないと思うが、まず協議の場を設けてほしい。

(委員)

- ・ 今まで土砂流出の小委員会では、農地からの土砂流出防止のため沈砂池を設置し定期的な土砂撤去や、河道の安定化等については実施している。ただし、森林等では多様な機関が絡み難しい部分もあるが、土砂流入小委員会の中で協議していきたいと思う。

(会長)

- ・ 小委員会で最初に議論していただき、協議会でも議題としてほしいという事であれば、議題として挙げる。
- ・ 今回の台風は気候変動がらみの問題で、気候が変わって今までの土砂の出方と異なってくる可能性もある。どこまでできるかは分からないが、土砂流入小委員会でやっていただきたい。

5. その他（連絡事項）

（事務局）

温根内ビジターセンターは、昨年から建て替え工事を進め春に完成予定で、4月8日に開館式を行い、4月9日から一般開放する予定である。展示に釧路湿原と人との関わりというコーナーを設け、自然再生の展示もする。自然再生の講義や研修の機会があれば、ぜひ活用して頂きたい。

—以 上—

第 23 回釧路湿原自然再生協議会における課題と対応方針（案）

項目	発言概要	回答および今後の対応方針（案）
湿原再生小委員会について	<ul style="list-style-type: none"> ・ツルハシナイ川付近の置土箇所から土砂が流出しないようにして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂が流出しないよう対策を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・工事から出た土砂の置土箇所について、小委員会で説明するべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は小委員会で委員からのご意見を頂きながら進めていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ツルハシナイ川付近の置土箇所について、緊急に現地を見て対策を検討する小委員会を開いて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・湿原再生小委員会を開催する。 (※3月10日に実施)
ヌマオロ地区旧川復元実施計画（案）について	<ul style="list-style-type: none"> ・現河道より復元河道は低いため旧川を繋げると上流が掘れてくるのではないかと。上流の小学校へ影響は無いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校はかなり上流のところなので影響は無いと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が参加して経過をモニタリングできる方法を検討して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が行うモニタリングを考えていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・施工業者がゴミを散らかしたり、喫煙しながら施工することがないよう施工業者の管理を徹底して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施工業者を注意して管理する。
全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の台風で自然再生地に堆積した土砂が、また湿原の中央に流れ出る可能性がある。堆積土砂について議論する場を設けて欲しい。 ・流域はほとんど民有地なので、民有地の土砂流入対策も議題として挙げて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂流入小委員会で議題としていきたい。また、協議会についても今後要望があれば議題としたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・以前協議会でエゾシカの被害報告があり、今回はどこの小委員会からもエゾシカの被害報告が無かったが、被害の現状が知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係する小委員会から協議会で現状をお知らせするようにする。